

2018年6月29日

「ヤクルトレディ」による宅配サービスが 「第2回 日本サービス大賞」経済産業大臣賞を受賞

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）は、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が主催する「第2回 日本サービス大賞」において、経済産業大臣賞を受賞しました。

本賞は国内全てのサービス提供事業者を対象に、多岐にわたる業種の多種多様なサービスを共通の尺度で評価し、優れたサービスを表彰する制度です。

この度、ヤクルトグループ独自の「ヤクルトレディ」による宅配サービスに対し、その独自性と海外での広がりが評価され、受賞に至りました。

当社は同賞の受賞を、当社商品をご愛飲いただいている皆さまのおかげと感謝するとともに、今後も「世界の人々の健康で楽しい生活づくり」に貢献してまいります。



<インドネシアのヤクルトレディ>

【受賞内容】

表彰名：第2回 日本サービス大賞 経済産業大臣賞

サービス名：健康を手から手へ 世界に広がるヤクルトレディ

【表彰対象サービス】

「ヤクルトレディ」は国内外で8万人超が活躍。日本発の宅配型サービスをモデル化し、多くの国で導入。

【評価のポイント】

- ・ヤクルトは現在38の国と地域に展開し、1日約4,000万本の乳製品愛飲数の4分の3は海外が占める。
- ・直接手渡しの強みを活かし、お客さまとのコミュニケーションや健康情報の提供、地域の見守りまで含めたサービスを提供。
- ・社会の変化に対応しながら女性の社会進出・活躍に貢献してきた、時代も国境もこえて親しまれる宅配サービスである。

【ヤクルトレディについて】

1963年に採用されたヤクルト独自の宅配システムで、国内で「ヤクルト400」をはじめとした食品および化粧品などをお客さまにお届けしています。

また、「ヤクルトレディ」は海外におけるヤクルトの普及の大きな原動力であり、現在はヤクルトを販売する海外37の国と地域のうち、12の国と地域に広がっています。

ヤクルトレディの人数は、国内34,888人（平成30年3月末時点）、海外46,559人（平成29年12月時点）となっており、多くの国でお客さまの健康づくりをお手伝いしています。

以 上